

会長総論

こんにちは。井出です。

突然ですが、僕って何のために会長になったのでしょうか？

このサークルにおけるボクという人間の起点は新歓の雑誌をテキトーにふと開き、目をつぶって指をさしたその瞬間です。ほんとです。特に志はありませんでした。ただ『友達がいらないポッチ大学生になりたくない』というその一点でこのサークルに入会しました。そして気が付いたら、今こうして皆さんの前に会長として立っています。いったいどういう心境の変化なのでしょう？あの時はただ友達がいればよかったのに。ただ時間がつぶせればよかったのに。会長なんてやらなくてもいいのに。立候補しなければいいのに。そうすればテキトーに卒業して、就職して、いい友達持って少なくともハッピーエンドは迎えられるだろうに。あの夏合宿の前日まで僕はその思いを捨てきれませんでした。

ぼくは天才でもなければ、スターでもない。1日をぼんやりして過ごすこともあれば、成績がいいわけでもなく、トップレベルの技能をこのサークルにおいて持っているわけでもない。平凡なひとりです。

でも、何かしたい。何かしなければ、何かを変えなければ気が済まない。漠然としてはいましたが、そういう衝動に駆られました。そうした時に思いました。『会長になろう』と。少し向かい風の吹いてきたこの会をいつまでも続けるために、渉外で見てきたいろんな他大学に追いつくために、みんなで仲良くいるために、そしてなによりも僕に様々な“経験”を与えてくれた会と皆に尽くすために。

ぼくはおよそ必要なことならば『何でもする』。そういう気持ちでいます。それはおそらく会長にしかできないことだからです。何でも言ってください。調整します。というわけで、お花見やります。4/9（月）です。詳細は後程。有志で来たれ。

そんな冗談も交えながらやっていけたら、僕はサイコーです。皆さんはこの一年、何をしますか？桜の季節、まだまだ可能性に満ち満ちています。何でもできるんです。行く先は『海』です。道しるべも、明確な目標もない。だが、なぜかは分からないけれど、無限の可能性だけがありありと知覚できる。

やってやりましょう。俺たちなら、きっとできる。

文責 井出 壮一郎